

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生涯研修センター管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 平井 隆雄	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民及び一般			
根拠法令等	伊予市生涯研修センター条例			
事業の目的	地場産業の振興に資する人材育成、地域文化活動の場の確保			
事業の内容	施設の管理運営、貸し館業務、イベント利用			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	利用者の利便性向上のため空調用冷温水ポンプの修繕を行った。今後の維持管理に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	5,755	6,310	2,800	5,599
	人件費	1,220	1,193	596	1,193
	合計	0	7,503	3,396	6,792
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.15
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,220	1,193	596	1,193
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,975	7,503	3,396	6,792

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
施設の利用回数(人)	回(人)	511(14571)	400(13000)	242(7009)	469(13734)

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	6,200	6,300	6,200	6,200	6,200	31,100

成果指標				
成果指標	地場産業振興のための効果的な施設の利用			
指標設定の考え方	効果的な活用方法を検討			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	390(12000)	400(13000)	450(13500)	0
実績	511(14571)	469(13734)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>昨年度より利用者数は減少したものの、目標数値は超えることができた。今後は地場産業の振興に資する人材育成、地域文化活動の場の確保を図りながら、適正な管理運営に努めていく必要がある。また、経年劣化による修繕箇所が増加しており、施設・設備の定期的な点検を実施し、早目の対応に努める。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>市民会館が取り壊され、利用が増加することが予想されるが、関係機関と連携しながら、研修センターとしての位置づけにおいて利用促進を図っていかねばならない。経年劣化については、利用者の利便性を考慮しながら、適正な管理運営に努めていく必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	本庁舎建設のため市民会館が取り壊され、また図書館・文化ホール等建設のため、中央公民館も取り壊されることから、生涯研修センターの利用頻度も上がり、駐車場のスペースが不足することが懸念されるので、これの確保に努める。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。